

## 新城歌舞伎実行委員会

愛知県新城市

### 【活動概要・効果】

#### ☆歌舞伎のまち「しんしろ」

○市内8団体が一堂に会して開催する新城歌舞伎公演を毎年継続して開催。小学生を対象とし出演者を公募して後継者育成を積極的に行い、市内外からの公演依頼に積極的に参加し、市民レベルで歌舞伎のまち「新城市」をアピールしている。

☆伝統芸能・文化の保存はもとより、市内の団体が時に助け合い、時に競い合って技術を磨き、芸能技術の向上にも努めている。また、活動は、地区・学区の枠を超えて行われ、地域交流の活性化、子供たちの人間形成にも役立っている。

☆定期公演は、昭和63年から毎年開催し、昨年で20回目を迎えた。毎年、市内外から約700人の来場者があり、地域伝統芸能として定着している。



新城歌舞伎

### 【現場の声】

現在、市内に8団体あるが、各団体がそれぞれ特徴を持って活動している。各団体が活動しやすいように、月に一度の実行委員会を開催して横の連携を取っている。その実行委員会の会合で、各団体の今後の思いや活動を報告していただき、皆で協議しながら前向きに進むこと。それから一つの団体に公演依頼があると、その内容を実行委員会にかけて全団体がバックアップして公演を成功させている。

～新城歌舞伎実行委員会  
加藤 芳夫さん

### 《人員確保での工夫・苦労》

日頃活動していく中で、各団体より3～5名程度のメンバーを選出していただき、そのメンバーが中核となって活動している。活動面ではメンバー全員が昼間は仕事を持っているので、いつも活動する時間は夜になってしまうこと。苦労は夜遅くまで作業に没頭してしまうこと。

### 《活動資金確保での工夫・苦労》

継続的に活動するには、ある程度の資金が無いと活動できないため、各団体より会費を徴収したり、他市町村からの公演依頼があると、ボランティアとして活動する一方で、公演に必要な経費を最小限に抑え、節約しながら資金を確保している。



練習風景